

# しあわせ100%

発行元 ◆ 社会福祉法人福津市社会福祉協議会(福津市健康福祉総合センターふくとびあ内) 〒811-3218 福津市手光南二丁目1番1号  
電話 34-3341 FAX 34-3343 URL <http://www.fukutsu-shakyo.or.jp> E-mail [jimukyoku@fukutsu-shakyo.or.jp](mailto:jimukyoku@fukutsu-shakyo.or.jp)  
印刷 ◆ 社会福祉法人福岡コロニー

## 一般事務職員(正職員)を募集します!

地域の福祉づくりの現場で働いてみませんか?

詳しくは  
5ページへ



12/1号  
おもしろ  
内容

### 特集 啓発事業(P2~3)

- ◆平成24年度 歳末たすけあい募金運動がはじまります(P4)
- ◆一般事務職員(正職員)を募集します(P5)
- ◆地域福祉活動の現場から【介護予防サロン:西区いきいきサロン】(P6)

# 福津市ふれあい交流事業

## & ほかほか福祉のつどい

# 特集

# 啓発事業

住み慣れた地域でふつうに暮らす  
それが「あたりまえ」になる日をめざして

社会福祉協議会では、地域の福祉についての理解を広めていくために、福祉に関係するさまざまな団体と連携をしながら啓発事業に取り組んでいます。

そのひとつが、十月二十一日（日）に開催された「ほかほか福祉のつどい」です。このイベントは、社会福祉協議会をはじめ、福津市内の福祉ボランティア団体、福祉団体、障がい者福祉施設、福祉関係のNPO法人など、二十の団体が実行委員会を組織して合同で開催しました。会場では、参加した団体がそれぞれの活動をPRしたほか、来場されたみなさまに、楽しみながら福祉について学んでもらうためのイベントの開催などを行いました。また、当日は、「障がい」について楽しく学ぶことができるイベントとして、福津市主催の「ふれあい交流事業」も同時開催されました。

会場内には、親子連れで遊びに来られたご家族をはじめ、高齢の方、障がいのある方などが、それぞれのペースで会場内を歩き交い、楽しんでいただきました。  
こうした光景が、「ほかほか福祉のつどい」というイベントの中だけではなく、地域や社会全体のあたりまえの姿として広がってほしい、この事業には、そんな関係者の願いが込められています。

障がいのある方の音楽で  
みんな盛り上がりました。



福祉功労者&福祉教育読  
本感想文優秀作品の表彰



みんな参加できるイベン  
トとして仮装大会を実施



企業などの協賛で実施し  
たお楽しみ抽選会



市内の障がい者福祉施設  
もイベントでPR



福祉ボランティア団体による福祉体験。写真の手話体験のほか、7つのコーナーで、多くの人が体験されました。



# 今年度は、10月現在で中学校1校、小学校6校で「ふくし体験教室（体験型事業）」を実施しています

視覚障がいのある人の生活について学びました。  
(神興東小)



車イスの操作や介助について体験しています。  
(津屋崎小)



手話の体験や聴覚障がい者との交流を行いました。  
(福岡東中)



コミュニケーションスクールで親子アイマスク体験を実施しました。(神興中)



車イスでの生活や車の運転について話を聞きました。  
(上西郷小)



ボランティアから点字ブロックの説明を受けています。  
(上西郷小)



## 福祉教育

啓発事業のもうひとつの大きな取り組みとしては、市内の学校と連携し、福祉ボランティア団体や福祉問題の当事者など協力して行う福祉教育があります。

将来を担う子どもたちに、生活上の困難や心身の障がいなど、福祉の問題の存在を知ってもらうこと。その問題に直面している人の痛みや悲しみに気づいてほしいこと。そうした困難に直面していても、周囲の人々と支えあいながら前向きに生きることができること。そして、子どもたち自身にも出来ることがあること。そんなメッセージを、関係者が協力して創りだしたプログラムで伝えていくのです。

例えば、視覚の障がいを体験するアイマスク体験では、単なる体験だけで終わらせては、せっかくの学習が活きません。体験をすると、最初は「こわかった」「目が見えなくてかわいそう」といった感想が出てきます。そういった子どもたちの正直な感想をまずは受け止め、そこから視覚障がい者との交流学習につなげ、その生活の様子や想いを知ること、子どもたちは身をもって「障がいがある＝不幸でかわいそうな存在」ではないと感じ取ることができるようになります。こうしたプログラムの実施は、学校、ボランティアや当事者が単独で行うことは難しく、こうした関係者のそれぞれの想いを丁寧にしり合わせていく作業を、社会福祉協議会がお手伝いしています。



# 歳末たすけあい 募金運動がはじまります

今年も、平成24年12月1日から平成24年12月31日まで、「地域で支えあうあったかい地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい募金運動が、全国一斉に展開されます。

歳末たすけあい募金は、地域のみなさんやボランティア、社会福祉協議会の関係団体のご協力をいただき、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、さまざまな住民主体の小地域福祉活動に活用されています。

少子・高齢社会や雇用形態の多様化等に伴う生活困窮者の増大等により、日々の暮らしの中で自分や家族の将来に漠然と不安を抱きながら生活をする人々が増えています。併せて、地域コミュニティ機能の低下により、福祉問題の需要の増大や「孤独死・孤立死」の防止対策、災害要援護者の対応策等、多種・多様化、複雑化しており、人間性豊かな福祉社会を実現するためには、公的施策とあいまって、住民のみなさん一人ひとりの身近なたすけあいの考えに支えられた活力ある福祉活動が不可欠となっています。

本会では、これまで、歳末たすけあい募金をひとり暮らし高齢者の方々への災害対策用品（非常食等）の配布等、個別配分をしていましたが、最近の社会状況の変化に対応するため、地域のみなさんが行う福祉活動への配分（地域配分）に重点を移しています。また、通年の福祉活動にも配分しながら地域福祉の充実を図っており、次第にその成果があらわれてきています。例えば、自治会（区）の年末・年始福祉活動事業に配分することで、社会福祉協議会が推進している住民主体の福祉団体（小地域福祉会及び介護予防サロン）が、少しずつですが着実に結成数が増加しています。

つきましては、本年度も下記の配分計画に基づき、1世帯あたり200円を目安に推進してまいりますので、何卒趣旨をご理解のうえ、みなさまのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## ～平成24年度歳末たすけあい募金配分計画～



餅つきで世代間交流



子ども達と高齢者の交流

- 小地域福祉会が行う年末・年始等の福祉活動事業への補助
- 自治会（区）が行う年末・年始福祉活動事業への補助
- 介護予防サロンが行う通年福祉活動事業への補助
- ボランティア団体が行う年末・年始福祉活動事業への補助
- 70歳以上のひとり暮らし高齢者への年賀状配布事業
- 福津市身体障害者福祉協会への補助
- 障害児・者親の会（あすなる会）への補助

共同募金会では、共同募金の使い道を全国の市町村ごとに一つひとつ紹介する取り組みを行っています。福津市で共同募金がどのように活かされているか、是非ご覧ください。

★赤い羽根データベース「はねっと」

<http://www.akaihane.or.jp/>で検索してください。



# 一般事務職員(正職員)を募集します!

福津市社会福祉協議会では、一般事務職員(地域福祉活動及び事務等業務)を1名募集します。

## ●受験資格

昭和60年4月2日から平成3年4月1日までに生まれた人で、社会福祉士資格を有する人又は平成25年3月31日までに社会福祉士資格取得見込みの人。その他、日本国籍を有する人などの要件があります。事務局にお問合わせください。

## ●第一次試験日

平成25年2月3日(日)

①教養試験 ②専門試験

## ●第二次試験日

平成25年3月3日(日) ※第一次試験合格者のみ

①作文試験 ②適正試験 ③面接試験

## ●試験会場

福津市健康福祉総合センターふくとびあ

## ●採用予定日

平成25年5月1日(水)



## ●申込書取得方法

平成24年12月3日(月)から申込書の配布を開始します。次の①～③のいずれかの方法で取得してください。

①福津市社会福祉協議会事務局窓口で受け取る

②福津市社会福祉協議会ホームページからダウンロードする

③郵送希望者は、440円分の切手を貼ったA4サイズの返信用封筒(送付先を正確に明記)を同封のうえ、朱書きで「職員募集申込書請求」と表記して福津市社会福祉協議会事務局に請求する(簡易書留で返送します)

## ●申込受付期間

平成24年12月18日(火)から平成25年1月10日(木)までの午前8時30分から午後5時まで受付けます。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(平成24年12月29日から平成25年1月3日まで)を除きます。

※郵送の場合、必ず簡易書留で送付すること  
(平成25年1月10日の消印まで有効)

## ●申込受付及び問合せ

社会福祉法人福津市社会福祉協議会 事務局  
〒811-3218 福岡県福津市手光<sup>てびかみなみ</sup>南二丁目1番1号  
福津市健康福祉総合センターふくとびあ 2階  
電話 (0940) 34-3341  
ホームページ <http://www.fukutsu-shakyo.or.jp>

～ 年末年始、ご家族でいっしょの時間を過ごしませんか? ～

## 車イス貸出し

病院に入院、または福祉施設に入所されている方でも、一時帰宅の場合にご利用いただけます。

社会福祉協議会では、福津市内にお住まいで、在宅で暮らしている方を対象に、1か月を限度に無料での車イス貸出しを行っています。病院に入院または福祉施設等に入所されている方につきましても、一時帰宅などの場合はご利用いただけます。ご家族の方がいっしょに過ごすことが多い年末年始の時期に、ぜひご利用ください。

受付は月～金曜日(祝日及び年末年始12/29～1/3を除く)の午前8時30分から午後5時まで。「ふくとびあ」2階の社会福祉協議会事務局で行っています。窓口に来られる方の印鑑が必要です。



車イスは3タイプ(左から自走型、介助型、携帯型)あります。デザイン等は写真と異なる場合があります。

# 地域福祉活動の現場から

## 介護予防サロン 見守りのカタチ (西区いきいきサロンの活動から)



健康体操

津屋崎小学校区にある宮司西区は、人口641名、高齢化率は29%【いずれも平成24年3月末現在】。介護予防サロンは平成22年4月、当時の区長が、「(宮司西区の) 高齢者の方にいつまでも自立した生活を続けてもらいたい」という想いで開設されたものです。

写真はいずれも7月24日(火)に行われたサロンの様子です。サロンの中ではこんな会話が交わされていました。

△△さん、最近、身体の調子はどう？

△△さんはひとり暮らしやから、気分が悪くなったら早めに助けを求めなさいよ！

食欲がないから、××病院で点滴してもらった。

●●さん、今日は珍しく来てないね？

●●さんは、家の用事があるから遅れて来るって言ってたよ！

サロンでの会話の内容は、ふだんの生活で自然と交わされるものがほとんどです。でも、このなげない話の中で、お互いの体調や暮らしの様子を知り得たり、姿を見せなかった人を気遣ったり、いざ困った時にどうすればよいかといった情報の交換といったものが行われています。そしてまた、こうした会話の積み重ねが、参加者の間で信頼関係を生み出していき、地域の誰かが生活の中で問題が発生した時に、周囲が素早くそれに気づいていくことにもつながります。

この日のサロンでは、健康体操や軽スポーツ(スカットボール・輪投げ)で参加者が汗を流しました。スカットボールでは高得点を出した方がガッツポーズをしたり、輪投げでは全体的を外した方が照れ笑いを浮かべる中、まわりの方から笑いと拍手がおきるなど、和気あいあいとした雰囲気会場を包んでいました。

参加された方にサロンの感想を聞くと、「閉じこもりや足腰が弱らないように毎回参加しています。また区の行事にも積極的に出かけるようにしています。参加するにつれて顔見知りも増えて、一層、参加することが楽しみになります」と笑顔で話されました。



スカットボール

### ~堅川(たてかわ)区に介護予防サロンが誕生しました!~

平成24年10月18日に、津屋崎小学校区の堅川区に、福津市内で22番目となる介護予防サロンが誕生しました。

みなさんの地区でも介護予防サロンを開設しませんか？詳しくは社会福祉協議会(電話34-3341)へお問い合わせください。

